



い〜なっつ!りぽーと

11月2日

笑顔いっぱい 花いっぱい



稲津花いっぱい事業で毎年春と秋に花植えをしています。

冬は街角の色彩が少し寂しくなりますが、寒い時期でも元気よく鮮やかに咲いてくれるパンジー・ビオラの苗1,150本が彩りをくれそうです。

公民館周辺・下小里交差点・学校・子ども会花壇など、17団体が花の苗を植えました。

約20名のボランティアさんには当日の花植えだけでなく、普段から花壇の管理をしていただいています。いつもありがとうございます。



神戸花壇



根っこを傷めないようにそーとね 上手だね!

11月10日 干支の作陶教室

～戌～

イメージが出来ている方はすなりと、そうでない方は少々悪戦苦闘しながらの制作となりました。本物みtainな作品や、ちょっと変化させた作品など、それぞれ個性豊かな来年の干支ができました。



12/26(火)～1/11(木)までロビー展示します。



功労者表彰

平成 29 年度 瑞浪市功労者表彰 表彰式が開催されました。
長年に渡りご尽力いただき、瑞浪市の発展に貢献されたことに厚くお礼申し上げます。

11月9日

稲津町の受彰者の皆さん

(敬称略)



- 社会教育功労** ◎社会教育、体育の振興に尽力
勝股美咲(小里) 多治見西高等学校
第6回東アジアカップ女子ソフトボール大会 2017 優勝
外山菜緒(萩原) 麗澤瑞浪高等学校
第9回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会にて岐阜県代表として優勝
- 消防功労** ◎消防団員として、多年職務に精励し、地域防災に尽力 安藤 崇(小里)
- 善意・善行** 釜糠区 平成17年から長期にわたり、里親制度のもと、市道の維持管理に貢献(市道 釜糠・城山線 他)
笹平区 平成17年から長期にわたり、里親制度のもと、市道の維持管理に貢献(市道 笹平 他)
- 感謝状** 水野康彦(小里)

11月17日 いいなっつ農園 里芋おすそわけ

いいなっつ農園産里芋
美味しいお芋ができました。



萩原の畑で栽培した里芋を「宅老所」「ひざし」「瀬戸の里」の方に召し上がっていただきたく、お届けしました。

「良い里芋ができたね!少し前まで私も作ってたよ!」「茹でて生姜醤油で食べたいね～ 味噌がいいかな～」など笑顔で話してくれました。



ii-nuts!!ギャラリー

季節のロビー展示 開催中

ひと足お先にクリスマス

中山尚子さんが描いたくるみ割り人形の原画と、デザインされたモ〇ゾ〇のチョコレートパッケージをお借りして、かわいらしいロビーでみなさんをお出迎えしています。段ボールハウスのそばで、大きなサンタクロースと雪だるまが、子どもたちのくつ下を見て微笑んでいます。



くつ下をあいがとう 第9弾 サンタが稲津にやってくる!

ロビーいっぱい★色とりどりのくつ下を目印にサンタクロースがやってきます。くつ下を貸してくれた子には稲津サンタからちょこっとプレゼント!12月20日(水)午後3時に公民館にお集まりください。

くつ下を貸してください スペシャル
12月14日(木)まで受付中!
対象:小学生まで



永井 聖也 君 羽広(高一)

瑞浪市がめざす「幸せ実感都市 みずなみ」を実現するために、若者の柔軟な発想を活かす「夢づくりチャレンジ研究室」があります。現在3期生が活躍中で、永井君たち瑞浪高校1年生7人がチャレンジしています。まちづくりにアイデアを出し合い、プレゼンを行い、イメージするまちを実現するように活動しています。

高校では生徒会でも活躍し、勉学と野球部との両立にも励んでいます。

「瑞浪から若者が外へ出て行かなくても、気持ちよく楽しく住み続けられる街にしたいので、映画も観れるような商業施設が出来たらいいなあと考えています。将来は教師の仕事もいいなあ、今回の人前で喋る事も勉強になるので頑張ります」と話す爽やかな笑顔が心強かったです。

平成30年 瑞浪市成人式のご案内

- ◆日時: 1月7日(日) 開式11時(受付10時)
- ◆会場: 瑞浪市総合文化センター 文化ホール
- ◆対象: 平成9年4月2日から平成10年4月1日までに生まれた方

◎問合せ: 社会教育課 ☎68-5281

人 口		10月1日現在	11月1日現在	増減
	男	2,195 人	2,197 人	2
口	女	2,292 人	2,297 人	5
	計	4,487 人	4,494 人	7
世帯数		1,706 世帯	1,710 世帯	4

	不燃ごみ	ビン・缶・ペットボトル・紙類・古着
小 里	12月15日	12月22日
	1月19日	1月26日
萩 原	12月14日	12月21日
	1月18日	1月25日

錦の秋が去り、山は眠りの季節に入った。
年の暮は日々、日照時間が短くなり慌ただしさが一層募る。午後四時も過ぎると暮れなずみ、やがて漆黒の闇に閉ざされる。このモノトーンの世界に燦然と登場するのがサンタクロース!この時期、日本にクリスマスが無かったらと、溜息が出るほどである。

只今、我が公民館はクリスマス一色で、幼児から寿大生まで真っ赤に燃え上がっている。極め付けは、九日の朗読劇「クリスマスキャロル」だ。繊細なピアノの音色が流れる中、練達の語り手が聖夜の物語を紡ぐ。この至福の時間に、あの中山尚子さんが物語に因んだ絵を描き上げる。この三つのコラボレーションが目の前で実行される。これを見逃す手はない。しかも、お歳暮クリスマスプレゼントが当たる大福引大会のおまけつきである。どうか賑々しくご来場の程を!

(K)

時の過ぎゆく
ままに...